

防災カードゲーム

「このつぎなにが
おきるかな？」
の遊び方



国土交通省

防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな？」の遊び方

1. おおまかな遊び方

1) カードの種類

このカードには、「すいがい」編と「つなみ」編があります。
両方、またはどちらか片方でも遊ぶことができます。

2) カードの構成

全体60枚

・「すいがい」(29枚)

1～7組(1組あたりA～Dの4枚) 28枚

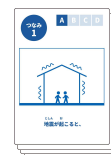
「これぐらいならだいじょうぶかも・・・」 1枚



・「つなみ」(29枚)

1～7組(1組あたりA～Dの4枚) 28枚

「これぐらいならだいじょうぶかも・・・」 1枚



・表紙カード

1枚



・お問い合わせ先

1枚

3) 遊べるメニュー

例① なにがおきるか ならべてみよう! (防災7ならべ)

例② とるとるカード! (防災かるた)

例③ だいじょうぶでは ありません! (防災ババぬき)

このほかにも、みなさんで考えてみて下さい。

2. 遊び方（ルール）

例① 【なにがおきるかならべてみよう！】（防災7ならべ）

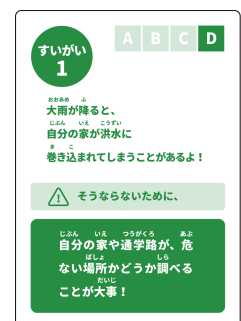
※トランプの「7ならべ」に似たルールです

1) 人数の目安

- 2～6人（両方のカードを使う場合）
- 2～4人（片方のカードを使う場合）

2) 進め方

- ① Aと書かれたカードを場にならべます。
「すいがい」1～7、「つなみ」1～7の番号順に横に並べます。
（「すいがい」と「つなみ」の両方を使うことができます。片方だけでも遊べます。）
- ② プレイヤー全員に、5枚程度均等にカードを配ります。余ったカードは裏面にして山札カードにします。
- ③ じゃんけん等で最初のプレイヤーが、手持ちカードの中からBと書かれたカードを場に出ているAのカード（同じ組のカード）にならべて出すことができます。
同じ組のカードで、B→C→Dと続くカードを持っている場合は、1回の中で続けて出すことができます。
無い場合は山札カードを引き、Aのカードに続くカードがあれば置くことができます。なければ引いた山札カードを手持ちカードにして（1枚増える）、次の人にパスします。
- ④ 2番目以降のプレイヤーは、③の繰り返しです。
- ⑤ Dのカードを出したプレイヤーは、A B Cカードのコメントと、Dカードの「！」マークコメント（避難するための注意事項）を声に出して読み上げて下さい。
- ⑥ 最初に手持ちカードが無くなったプレイヤーが勝ちです。



3) 振り返り

- 並べられたA～Dまでのカードをもとに、水害や津波から気をつけること、逃げるための注意事項について、気づいたことを話し合しましょう。

例② 【ととととカード！】（防災かるた）

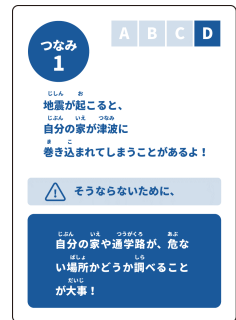
※「かるた」に似たルールです

1) 人数の目安

3～6人（1グループ） ※そのうち1人が読み上げます

2) 進め方

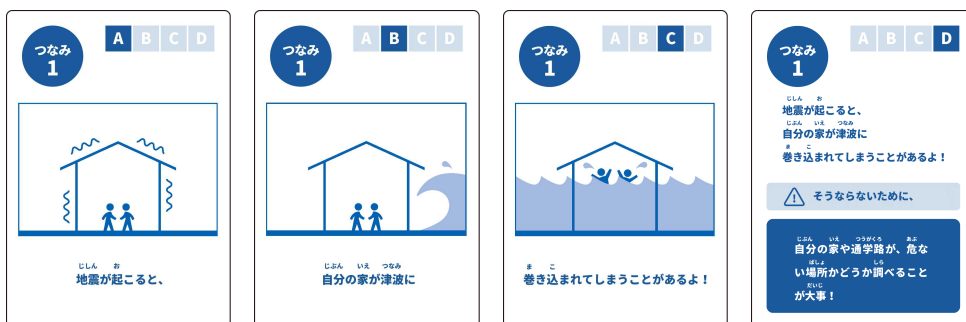
- ① Dと書かれたカードを「かるた」の「読み札」にします。
- ② 残りのカード（A～C）をテーブルに並べ「かるた」の「取り札」にします。
- ③ 読み上げ係が、Dのカードに書かれたコメントを読み上げます。



ほかのプレイヤーは、読み上げられたコメントと同じ組のカードを素早く取ります。

カードは、プレイヤーがA B Cをバラバラに取ることができます。一人のプレイヤーが一度にA B Cの3枚を取ることもできます。

取ったプレイヤー全員で、A B CカードのコメントとDカードの「！」マークコメント（避難するための注意事項）を声に出して読み上げて下さい。



- ④ 一番多くカードを取ったプレイヤーが勝ちとなります。

3) 振り返り

- ・ 並べられたA～Dまでのカードをもとに、水害や津波から気をつけること、逃げるための注意事項について、気づいたことを話し合いましょう。

例③ 【だいじょうぶでは ありません!】(防災ババぬき)

※トランプの「ババぬき」に似たルールです

1) 人数の目安

6～8人 (1グループ)

2) 進め方

- ① プレイヤー全員に、同じ枚数のカードを配ります。
このとき、「これぐらいならだいじょうぶかも・・・」
カードも1枚混ぜて配ります (トランプのジョーカー
の役割です)。
- ② おなじ組のA B C Dカードのうち、2枚のカードをペアカードとして、テ
ーブルに置くことができます。(プレイヤー全員が見える場所に置いて下
さい)

(ペアカードの例1 : 「すいがい1」の組 「A」と「C」)

(ペアカードの例2 : 「つなみ3」の組 「B」と「D」)



- ③ じゃんけん等で最初の人、隣の人のカードを引きます。ペアとなるカ
ードが引ければテーブルに置きます。
- ④ これらを繰り返し最初に手持ちカードが無くなったプレイヤーから抜
けていき、最後に「これぐらいならだいじょうぶかも・・・カード」が手元
に残ったプレイヤーが負けです。
負けたプレイヤーは最後に「だいじょうぶでは ありません!」と言っ
て下さい。

3) 振り返り

- 並べられたA～Dまでのカードをもとに、水害や津波から気をつけるこ
と、逃げるための注意事項について、気づいたことを話し合ひましょ
う。



【 参 考 】

1) このカードゲームの対象

小学生以上

2) 防災カードゲーム「このつきなにごおきるかな？」の特徴

- ・ 学校教育等の場で、楽しみながら防災について学べます。
- ・ 水害と津波から命を守るための方法を学べます。

3) 入手方法

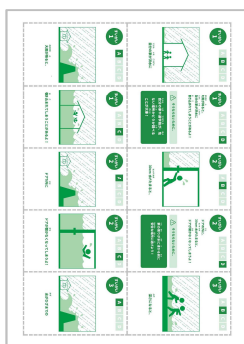
国土交通省の下記 HP からダウンロードできます。

「防災教育 ～国土の防災ライブラリ～」

<http://www.mlit.go.jp/river/bousai/library/index.html>

以下 3 タイプのデータを用意しています。

- ① 名刺サイズ版 市版の名刺カードにプリントできます。
 - ② ハガキサイズ版 市版のハガキサイズの用紙にプリントできます。
 - ③ A 4 サイズ版 A 4 サイズの用紙にプリントできます。
- 授業で使える資料にも！



① 名刺サイズ版
1 枚 (55mm×91mm)



② ハガキサイズ版
(100mm×148mm)



③ A4 サイズ版
(210mm×297mm)

4) お問い合わせ先

このカードゲームについてのお問い合わせ先

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課
防災教育担当

[TEL] 03-5253-8111 (代表)